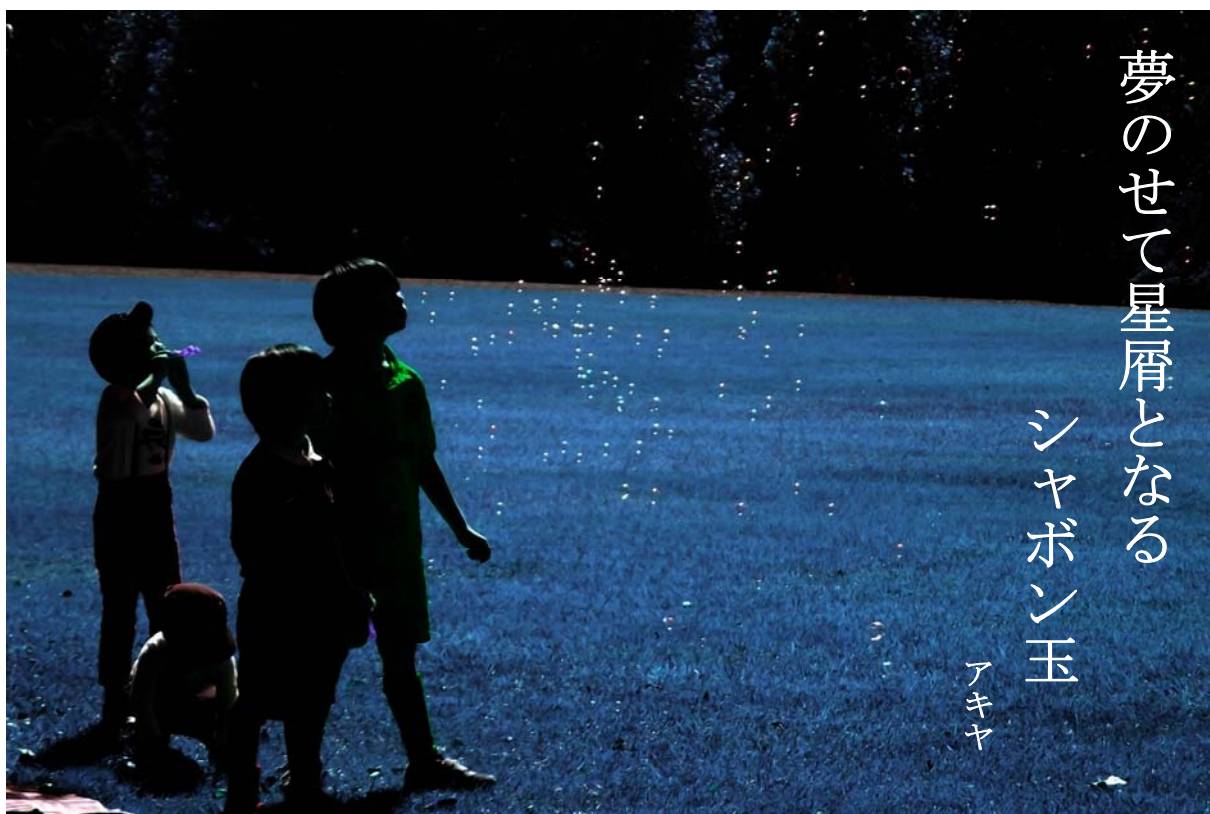


第六十八回フォト句優秀作品（28年12月12日）





夢のせて星屑となる

シャボン玉

アキヤ



燃え盛る火炎の苑へ未練橋

富男



寄り添えど

芽生える疑惑

君知るや

富男

## 自由題寸評

- 1) 暮れの秋人生全てうらおもて 中村 晃也  
風に揺れているプラタナスの枯葉である。なんと言ったこともない写真に思わせぶりの句がついた。これがフォト俳句のいいところ。
- 2) 爆買いもバブルの沙汰もみんな見た 矢澤 正二  
銀座三越の店頭に居るお馴染みのライオン像を近景に、銀座通りの風景を描写した。カメラアングルも良いし、世相を捕らえた句もなかなか良い。
- 3) 夢のせて星屑となるシャボン玉 中村 晃也  
夕闇せまる野原でシャボン玉を飛ばしている子供達。写真も句もささやかなロマンを感じさせる。
- 4) 燃え盛る火炎の苑へ未練橋 平尾 富男  
見事な紅葉を燃え盛る火炎と表現した。遠景の橋にも勝手に「未練橋」と命名した丁寧さを買いたい。
- 5) 寄り添えど芽生える疑惑君知るや 平尾 富男  
美しくも珍しくもない写真に意味不明の句が付いた。ミスマッチの典型。

## 付け句



今月は平尾さんの出題。青森県の蔦沼周遊コースの美しい風景です。

- |                    |       |
|--------------------|-------|
| 1) 霧雨や去りゆく人の靴の音    | 大越 浩平 |
| 2) 撮る夫を残して妻ははるか先   | 松田 昌康 |
| 3) 逢うたびに一皮剥けて大年増   | 三 春   |
| 4) 踏み外し何処かにあるぞ落とし穴 | 矢澤 正二 |
| 5) 逃避行ゆくか戻るか思案橋    | 矢澤 正二 |
| 6) 逝く秋や人生の道ままならず   | 中村 晃也 |

### 寸評

- 1) 秋の季語が入り、画面にはない靴の音を配したこの句はなかなかのもの。
- 2) 旅行中によく出くわす風景。往々にして喧嘩の原因となる場合がある。
- 3) 白樺の木は成熟すると皮が剥ける。少年が一皮剥けて青年になるのは領けるが、一皮剥けて大年増になるのは、ご自分のことでは無いと思うが。
- 4) いかにも底抜け穴がありそうな道だが。
- 5) 演歌にあるような通俗性が好ましい。
- 6) 1) に次いで深みのある詩情性のある句だ。